

■古地図とその魅力について

現在発行されていない資料的価値の高い古地図は、地理的情報に加えて、歴史的情報を提供する貴重な資料となっています。古地図には、文字にすれば多数の紙面を要する情報が一枚の紙に納まっているので、見るほどにその意図や背景が分かり、味わいが深まります。また、眺めるだけでも、現在の地図と違う独特の表現方法や色の使い方などを楽しめます。

■展示の概要について

現在の岐阜県は、今から130年前の1876（明治9）年8月21日、地理的環境とともに歴史的な歩みも異にした美濃と飛騨とが合併して誕生しました。

展示では、合併130周年の節目を記念し、郷土の歴史や文化等についての理解や愛着を深めていただくとともに、古地図独特の表現や美術的魅力も併せて楽しんでいただけるように、郷土の歩みを江戸から明治にかけて作製された古地図でたどり紹介しました。



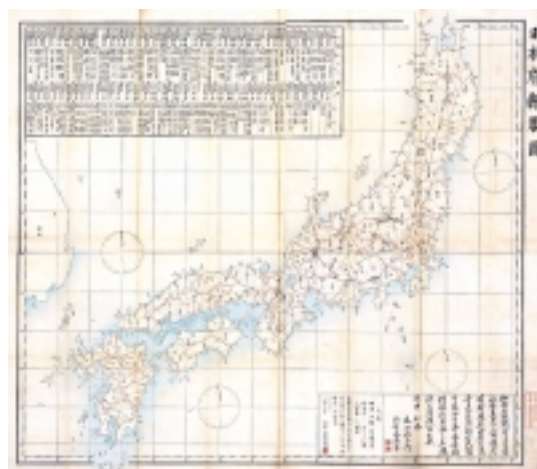
展示の様子

■展示の構成と概要について

江戸時代（「幕藩体制下の美濃と飛騨」）と明治維新後（「『岐阜県』の誕生」）の2部構成とし、当館が収蔵する古地図56点を展示しました。

展示した古地図は日本図や国絵図（旧国単位の絵図）、道中図（旅のガイドマップ）、名所旧跡図、河川図などで、これらに描かれた郷土の街道や河川、名所旧跡を紹介しました。また、明治期に作製された高山県や筑摩県、新生岐阜県の地図等も展示・紹介しました。

■展示資料の紹介



「日本府縣略図」／1872（明治5）年刊

この図が作製された前年の1871（明治4）年に廃藩置県が実施され、全国は3府72県となりました。本図にはその直後の情報がいち早く掲載されています。岐阜県は美濃一國で、飛騨の三郡は高山県を廃止して、信濃四郡と筑摩県を形成しています。

「岐阜縣管内地図」
／1880（明治13）
年刊

本図は1876（明治9）年8月21日に筑摩県が廃止され飛騨が岐阜県に編入された4年後の1880（明治13）年5月に岐阜県が発行した20万分1の管内地図です。美濃・飛騨を併せた県別地図としては最も古く、近代の県行政を進める基本図として用いられました。

